

銀の鬼 〈第一巻〉

茶木ひろみ



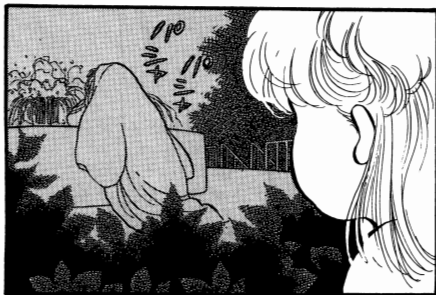
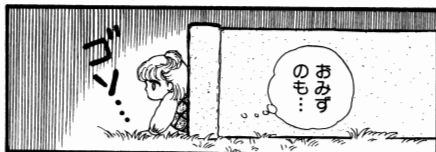




ママのばか
ふぶき悪く
ないもん

パパのうえきばち
こわしたの
となりのコブちゃん
だもん
なのにふぶきの
おしりぶつた!

ここで
帰ったら
ふぶきの
負けだわよっ



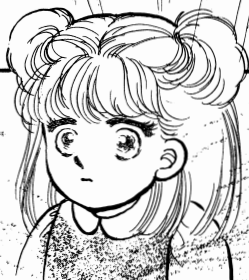
おなかすいたなー



くらくて
こわいよ

おうちに
かえりたいよ

でも...



だれじゃ!?
みたな…

なんじゃ
子どもでは
ないか

おれが
こわいかえ?

そう
おれは鬼おに

ひとを
さらって
食う鬼おにさ
おまえも食って
やろうかえ



だが今はまだ
食わない

おまえが
大きくなったら
むかえにいく



待って
おれ

必ず
むかえに
いくぞ



ふふふふ

ふふふふ

ふふふふ

ふふふふ

ふぶき
—(433)—

つぎの朝
テレビで
あの公園の中で
女のひとが殺されて
いたというニュースを
やっていた

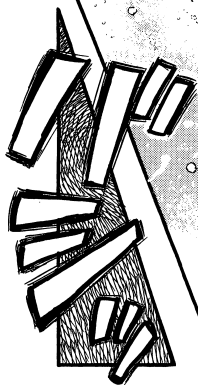
変質者による
犯行らしいと
いわれたが

ふぶきだけは
そうじゃない
ことを知って
いた——

その日以来
あまり口をきかなく
なった少女を
少しづつはげまして
くれたのは

時という名の
けしゴムだった

いまは
春……



17 歳
ふぶき

やったわね

さっきの
おかえしよ
あたしに
つきあたっ
たのに
どうして
あやまらない
のよ!?

だ……だいたい
前からあなた
めざわりなのよ

それが
下歩いてた
わたしの頭に
おちたのよ!

ふん!

その前に
だれもみてない
からって
教室の窓から
ゴミ捨てたの
だれだっけ?

いつも
あたしたちを
バカにするような
目でみて!

そう?
べつに
あんたたち
なんて
みてないけど

それよ
その態度よ
なまいきなのよ

いつも

自分だけ

おとなですって

顔しちゃって

かげで

そうとう

遊んでるん

でしょ!?

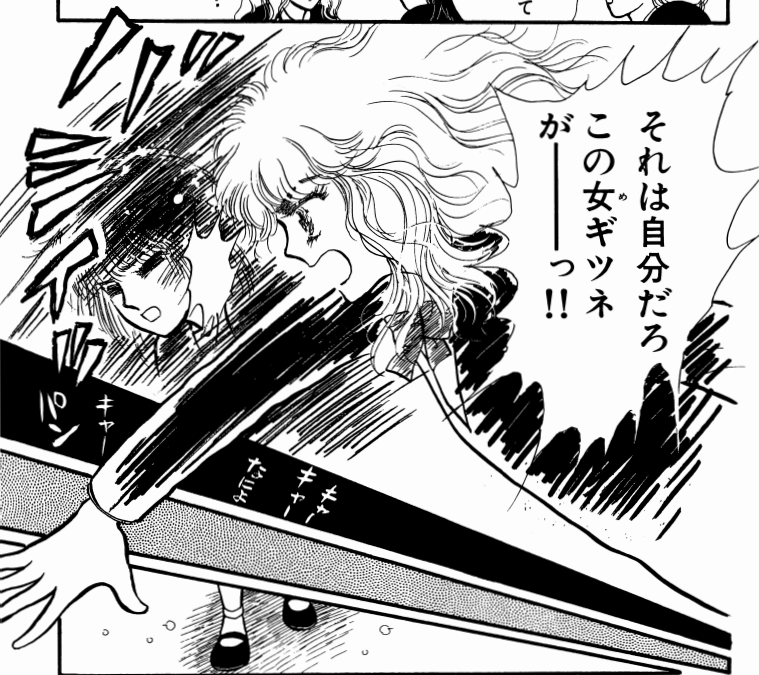


恵子
気をつけて
この子
やる気よ

じり…



それは自分だろ
この女ギツネ
が——っ!!



いやな時代
だなあ

女の子が
女の子らしく
生きられない

ほんと
いうと
昔のお姫さま
みたいに
かよわく
生きたいのよ…

なん
ちやつて

島影
しまかげ
先生!!

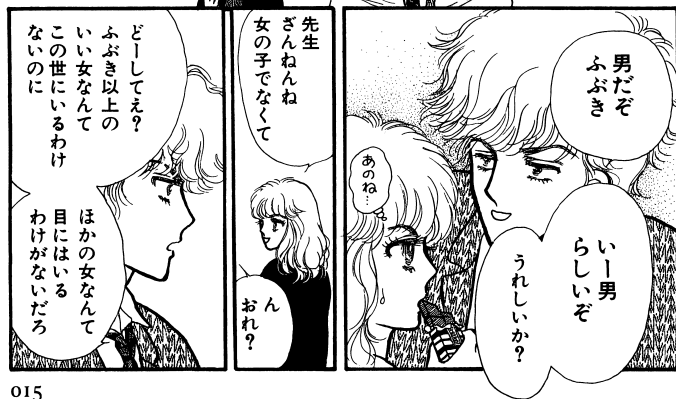
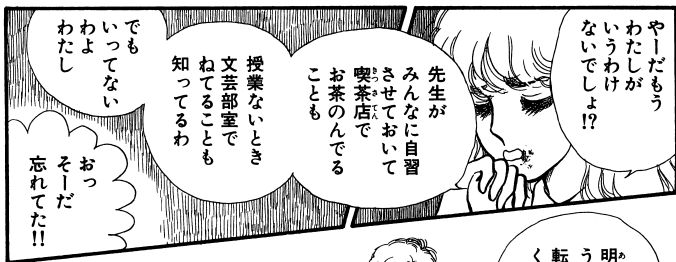
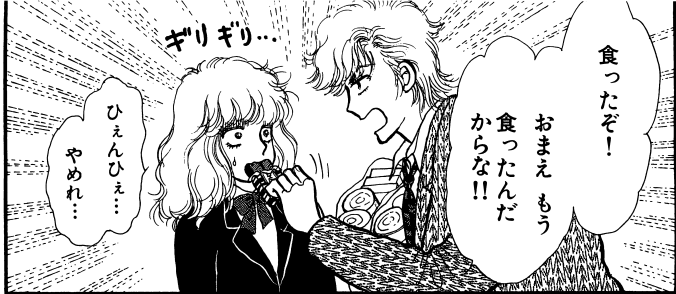
頭痛が
するって
午後から早退
したくせに!

チョコレート
やるから
だまつてて
くれ

わいろ?

うっ…
夏乃
なつ乃

まずい…



んもう
はぐらかしの
天才!



ちかまつ
近松です
よろしく

近松善三

九州からきた
ちかまつ
近松くん
みんな仲よくしろよ



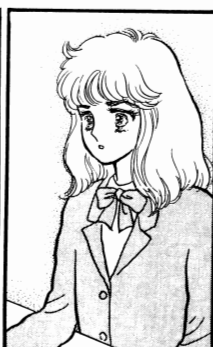
どっかで...
どっかで...

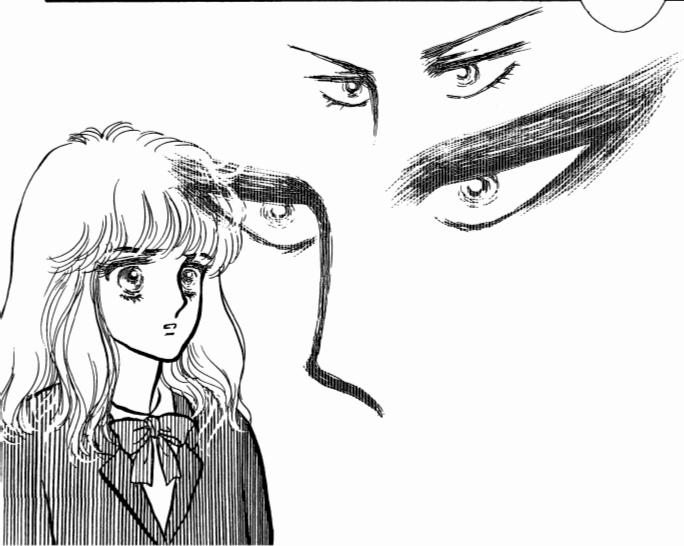


恵子!
好み
でしょ

ちよつと
やめてよ

負けた...



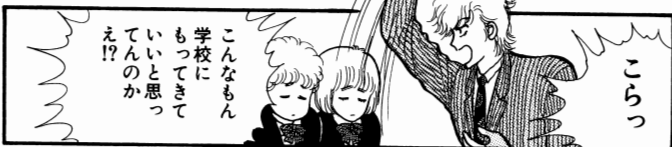




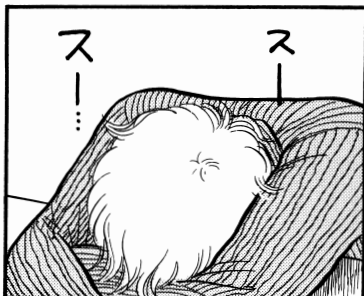
キーンコン

カーンコン

あ…







明日は
結婚記念日の
旅行でしょ
パパと

はやく
ねないと
ママ

ねえ
あんたも
いらない？

やんぴー
あてられ
ちゃうもん

バーカ
そんな年じゃ
ないよ

あたしや
これを着て
どっかいくの
だけが楽しみ
なんだからね
パパはつけたし
だよ

でも やつぱり
いくのやめよう
かね
あんたをひとり
おいていくのは
心配だよ

なに
いってんのよ
前日になつて

わたしもう
おとなだよ
そんなに
過保護に
しないでよ
おやすみ
おやすみ

そ…う？

じゃ
ねるよ…

おやすみ

おやすみ

でも
よく考えて
みたら…

ちよつと
目つきが
似てるだけで
姿はぜんぜん
ちがうじゃない

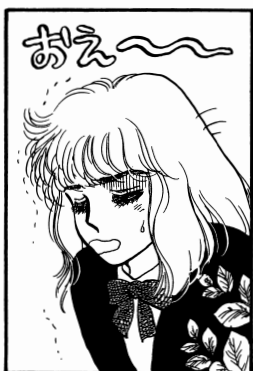
あんな銀色の
からだして
ないし

それに
昔のことは
やつぱり
変質者の変装
だったかも
しれないし…

わたしのこと
知ってたのだって
むこうもカンちがい
してるんだわ

きつと
そうよ

おもいきって
明日 本人に
きいてみよう…





おれは…



ああ
あのこと？



ねえ 近松さん
ふぶきとは
どういう
知りあいの？

クラスの
みんな
知りがつ
てたわ

てめーが
知りがつ
てんじゃん



彼女の
むかえに
きたんだ



おまえを…

食って
やろうか…



むかえに
いく…

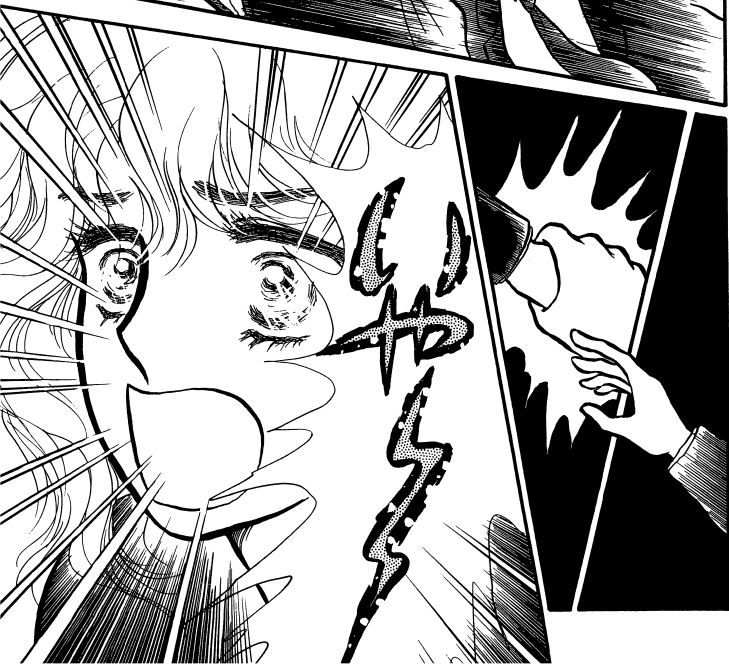
むかえにいく

だが今は
食わない

おまえが
大きくなったら

ふぶき

さっ





ここは
いいから
きみ帰
なさい

でも
夏乃が
泣いてる
じゃないか



どうしたんだ
ふぶき…
おまえが
泣くなんて
めずらしい



どうし
たんだ？

あ…いや
なんでも…





ませたこと
いってないで
お茶とケーキ
でも
おあがり

きや
どうして
こんなの
あるの？

おれ 甘党^{かまう}なのさ
1日1回は甘いもの
食わないと
どうもね

クック

先生って
少女の
ようね

ますます
好きに
なつちやつた

…で

どうしたん
ださっき？

近松^{ちかまつ}くん
は…

…鬼^{おに}かも
しれないの

先生なら…
きいてくれると
思うから

いうわ



鬼^{おに}は
この世に
いるのよ
!!

ほんとよ
先生
わたし昔^{むかし}
鬼^{おに}をみたの



ええ
あの目…
忘れない
それに
むこうも
わたしのこと
知ってるって…

わたしを
殺しに
きたのよ!!
どうしよう…

それが
近松^{ちかまつ}だと
いうわけ?



でもねえ
ふぶき

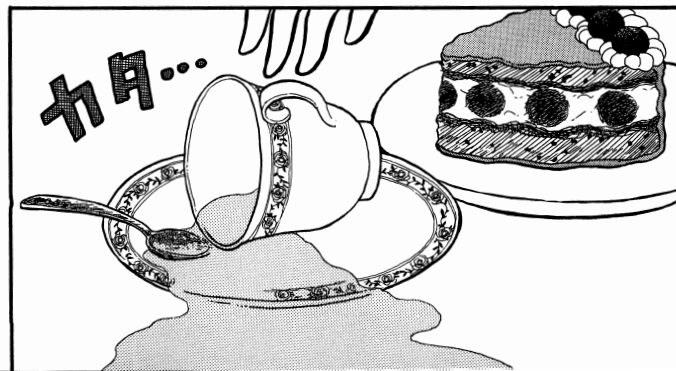
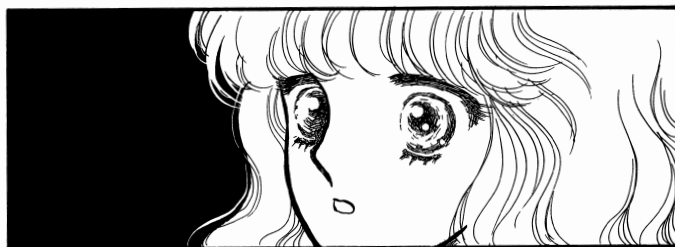
鬼^{おに}なんて
いったって
いまどき
誰^{たれ}が信じる
!?

ふぶきが変人
だと思われ
ただだよ



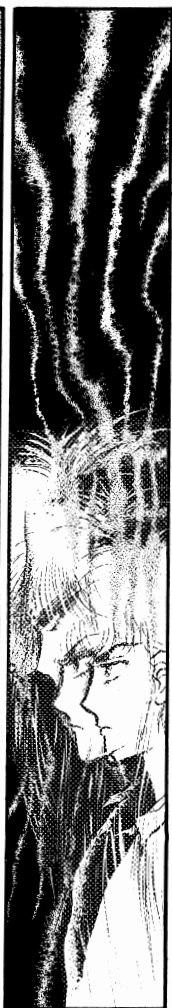
そんなこと
ほかの人には
いわない
ことだね

先生…
信じて
くれないのね





おれがその
鬼^{おに}だもの





昼間は
人間の姿を
してるけど
夜はこんな
姿になる

女をさらって
もてあそんで
殺して食う
といったえの
鬼^{おに}だよ!!

おまえの学校の
教師となって
ずっとおまえを
みていたんだ

おれは
おまえを
食う日を
楽しみに

キヤ...ああ...あ...

やめ...て

だが おれは...
少し深入り
しすぎたようだ

先生...
やめて

おまえを
長い間みすぎて
しまった

そして おまえを
愛するように
なってしまったのは
おれの計算ちがい
だった――

こうなつては
おまえを
食いはしない

おまえは
はなよめ
おれの花嫁に
する!!

うそ

うそ…でしょう
先…生…

先生が…
あのときの
銀の鬼だ…
だなんて